



# 広島県支部会報



平成26年2月15日

## 第58号 南東部地区会議

日時：2月15日13時～16時

場所：尾道市防災センター

主催：広島県支部南東部地区

来賓：広島県危機管理官、尾道市、尾道消防局、尾道警察署、三原市

参加者：南東部地区防災士30人

### [開会挨拶]

岩崎地区幹事と桑木県副支部長の挨拶のあと岩崎幹事の進行より進められた。

来賓挨拶：来賓各位から、県内の防災士活動の促進、尾道市の自主防災組織の普及、阪神淡路大震災への支援活動経験の教訓を活かす、行政・住民の協力取り組みなど話された。

### 議題：1. 25年度県支部役員会報告

25年度は支部主催の行事も増え始め、活発化し始めてきた。  
中国支部連絡協議会設立、支部主催のイベントも3件と事。

### 2. 25年度会員状況

福山市26人、三原市（呉市、江田島市）14人、府中（神石町）8人、  
尾道市7人/合計63人 新防災士の入会もあるので確認後連絡  
のこと。尚、各人の得意分野を申込書に記載のこと。

### 3. 講座：「南海トラフ巨大地震への備え！」～防災士の取り組み～

桑木光信 副支部長

国家的防災課題であり、南東部地区でも重要テーマとなっている  
「南海トラフ巨大地震」について防災士として基本認識を持ち、地  
域の安全に取り組む事が重要である。地域の実態に即した啓発活動  
として下記ポイントを話した；

- ・地震・津波の規模と被害の把握
- ・津波の怖さと理解（津波高さ、浸水深さ、浸水域、標高）
- ・地域への被害と要因把握
- ・命を守り、家族や地域を守る判断、行動
- ・地域の防災活動は知識でなく継続的意識と訓練が必要
- ・避難所生活への心構えと運営

### 4. 25年度各市町の活動報告

福山地区（吹矢防災士）：

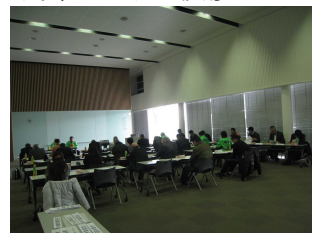
地域で防災意識を植え付けることを目標として取り組んできた。  
最近では1次避難所に1000人(90%)が集まるようになった。三原市での本町連合町内会の支援、甲奴町の防災会



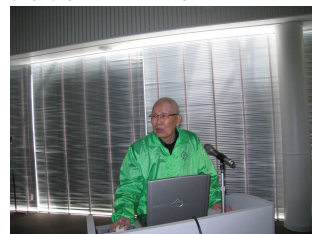
岩崎地区幹事挨拶



来賓尾道市の挨拶



出席防災士の様子



講座「南海トラフ巨大地震への備え！」～防災士の取り組み～ 桑木副支部長

立ち上げ支援、福山市防災リーダー養成計画がある。

尾道地区（細川防災士）：

尾道市因島、三原市、世羅町など防災訓練の指導、支援を行った。また江田島市で防災講演を行った。

三原地区（竹原防災士）：

市立第2中学校で防災訓練を実施、別途町内会と中学生とでHUG訓練を行った。成果も課題も把握できた。

高坂町でも防災訓練を実施し年々成果を上げている。

三原市には「三原市防災ネットワーク」（12団体構成）はあるが「三原防災士会」を設立したい。

世羅地区（岡田防災士）：

得意分野として女性の立場から非常食と救急・救命に取り組んでいる。地区での講座には防災士の皆さんの協力支援を得ている。昨年「世羅防災士会」を20人で組織化した。

#### 5. 今後の地域防災訓練の支援

①救急・救命士養成スケジュール4月19日（土）実施予定とする（岡田防災士）

②3月2日（土）三原市と府中市で防災訓練が実施されると説明があった



吹矢防災士



細川防災士



竹原茂防災士



岡田防災士



終り

南東部地区会議出席者